９　外国語

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅰ	２	第１学年	三友社出版　「ECHO English Expression　Ⅰ」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英表現語Ⅰの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では、英語力向上だけでなく、クラスメイト同士の相互理解の機会としてペアワークやグループワークなどを取り入れます。それらの活動に積極的に参加し、他の人とのコミュニケーションを円滑に進めるスキルも身に付けていきましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、身振り手振りも使いながら、英語を英語らしく読むことを心がけましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・事実と意見などを区別して話すことができる。 ・・・・・・・・・・・・・ など	コミュ英Ⅰ インタビューテスト スピーチ 英語表現Ⅰ インタビューテスト スピーチ	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 ・・・・・・・・・・・・・ など	コミュ英Ⅰ ライティングテスト 定期考査 英語表現Ⅰ ライティングテスト 定期考査	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・・・・・・・・・・・・・ など	コミュ英Ⅰ リスニングテスト 定期考査	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・・・・・・ など	コミュ英Ⅰ リーディングテスト 音読テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (５時間)	初対面の場面でのやりとりを取り扱った題材で、文の基礎種類や文型（第１・２文型）を再度理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・モデルの対話の内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・本文についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分について話す。	・ペアで、メモに基づいて会話の内容について伝え合う。	・本文を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、自分にについて話すことができる。	・ワークシートでの確認
		「外国語理解の能力」			
		（本単元では設定しない）	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	（本単元では設定しない）	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・第１文型第２文型、簡単な疑問文を使用して自己紹介文を組成できるかを確認する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・文の形や、簡単な疑問文を使用して文を組成できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

Lesson 2 (5時間)	「自分の家族について話す」という題材で文型（第３・４文型）の確認と文の組成を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・第３・４文型を理解して文を作れるようになる。	・文型の確認と、決められた文が組成できるか。ペアで確認しあう。	・ターゲットとなっている文型を使い、ペアで積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・音読させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・第３・４文型を適切に使用し、自分の家族についいつくか文が書けるか。	・セクションごとに、指定された文をワークシートに英語で書く。	・必要な文を適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。

		「外国語理解の能力」			
		・第３・第４文型の文が適切に書けたり読めたりすることで、理解度を測る。	・セクションごとに適切な文型を使い分けているか判断する。	・英文を適切な文型で書けているかで判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、文型を判別する出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・文型を理解して、適切に使用できているか。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	適切な文型を理解し使用できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 （５時間）	・「将来の夢について語る」という題材で、第５文型を習得。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自分の将来について考え、現在の思いを英語で相手に伝えることができる。自分とは違う考え、将来の夢についての考えを、敬意を持って聞く。	・ワークシートを利用して、第５文型を使った表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	・ターゲットとなっている文型を使い、ペアで積極的に話しているか。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・音読させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		第５文型を使った文を作ることができる、	・ワークシートを用いて、自分の将来について、パートナーに対して、短いスピーチをする。	ターゲットとなっている 文型を適切に使い、文が書けているか。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・第５文型を使った文を作れる。相手のスピーチを聞いて内容を理解できる。	・ワークシートを用いて、第５文型の語順を理解し、使えるようにする。	ターゲットとなっている 文型を適切に使えている か。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		英語圏の国々の文化の特徴の１つである「自分の考えを言葉に出して伝える」ことに慣れていく。	スピーチをより良いものにするための話す順序〔スピーチの構成〕や表情や、工夫について学ぶ	ターゲットとなっている 文型を適切に使い、スピーチできているか、	・ペアでの言語活動を観察する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 （５時間）	・「大学について調べよう」という題材で、時制の違いの確認と理解。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		他者の考えを聞きながら、自分の現在の認識との共通点や違いを知り、「大学で学ぶとはどのようなことを意味するのか」を考える。	・ワークシートを利用し、意見交換をする。その際に必要な英語表現を事前に導入し、ペアで練習する。	・ターゲットとなっている表現を使い、ペアで積極的に話しているか。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを回収し、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ターゲットとなる時制の違いを理解できているか。	・ワークシートを用いて、現在、過去、未来の時制について文法的に確する。	・ターゲットとなる時制で、文の組成ができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。

		「外国語理解の能力」			
		・ターゲットとなる時制の違いを理解できているか。	・ワークシートを用いて、現在、過去、未来の時制について文法的に確する。	・ターゲットとなる時制で、文の組成ができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日本以外の国の同世代の学生達の高校時代の過ごしかたや、大学進学についての認識について調べる。	・インターネットや書籍等を使って、各国の高校生たちの学校での過ごしかたや、将来の捉え方が、自分達と比較して共通点や相違点に気づく。	インターネットを使って必要な情報を十分に入手し、聞き手に分かりやすくまとめることができるか。	・グループで協力して調べ、その成果発表により評価する。
Lesson 5 （5時間）	「部活動」を題材に、完了形と過去形の違いを理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・セクションごとに、本文の音声を聞き、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・完了形の適切な表現を理解し、自分の部活動についてパートナーに話す。	・ワークシートを利用して、完了形の違いを確認しペア・ワークで音読を行う。。	完了形の違いを適切に理解できる。	・ワークシートで適切な形に変更できているか確認する。
		「外国語理解の能力」			
		・完了形と過去形の違いが理解できているか。	・セクションごとに、最適な形に直しているかして、ワークシートで確認する。	・完了形と過去形の違い、加えて完了の用法の違いがわかっている。	・定期考査で、過去と完了系の考えを区別して機械しているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・英語を使用している人々のがなぜこの様な用法を使用するのか文化的背景について理解する。	・本文の内容を聞き取る際に必要な文化的背景をワークシートにメモを取りながら理解する。	・英語を使用している人々のがなぜこの様な用法を使用するのか文化的背景について理解できる。	・定期考査で、なぜこの様な用法があるか理解する。

Lesson 6 （5時間）	「お礼のメールを書く」という題材で、多くの進行形の使い方を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に進行形を使用する。 ・してもらったことに対して、具体的にお礼を言う練習をする	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・進行形を使用して表現できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、情報や考えなどを、聞き手に伝わるように表現する。	・進行形を使用して、自身の考えなどを、表現できる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、情報や考えなどを、聞き手に伝わるように表現できる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			

		・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握する。	・つながりを示す語やフレーズをたよりに、論理の展開を読み取る。	・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、単元理解を問う出題により、進行形が理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・進行形が適切に使えているか確認する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	多くの進行形が適切に使用できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 7 （5 時間）	「花火大会の広報誌」を題材に、受動態の使い方を理解する。 自分で企画したイベントの告知を英語で書く	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自分の企画したイベントについて積極的に受動態を使用して話す。	・ワークシートを利用し、受動態を使用して英語で説明する。	・積極的に受動態を使用して話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・受動態を理解して使用すること。 ・必要な情報をまとめ、イベントの告知を英語で書く。	・本文ついて説明し、自分の考えを話す。	受動態を利用できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		・能動態との違いを理解すること。	・受動態の形を理解し、その内容を理解する。	能動態との違いがを理解でき、受動態を使用できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・受動態の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・受動態の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 8 （5時間）	「フリーマーケット」についての題材で助動詞の使い方を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・フリーマーケットで買い物をしたことがあるか、出品したことがあるかなどを尋ねることができる ・間違うことを恐れず、積極的に助動詞を使用する。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・ワークシートの例をモデルに、多くの助動詞を使用して表現できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、情報や考えなどを、聞き手に伝わるように表現する。	・適切な助動詞を使用して、自身の考えなどを、表現できる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、情報や考えなどを、聞き手に伝わるように表現できる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握する。	・つながりを示す語やフレーズをたよりに、論理の展開を読み取る。	・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することがで	・定期考査の筆記テストにおいて、単元理解を問う出題により、助動詞が理解できているかを判断する。

				きる。	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・多くの助動詞が適切に使えているか確認する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	多くの助動詞が適切に使用できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 9 （6 時間）	「自分の住んでいる地域調べ」という題材で、助動詞＋have ＋過去分詞表現の使い方を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に助動詞＋have +過去分詞を使用する。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・多くの助動詞＋have +過去分詞を使用して表現できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、情報や考えなどを、聞き手に伝わるように表現する。	・適切な助動詞＋have +過去分詞を使用して、自身の考えなどを、表現できる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、情報や考えなどを、聞き手に伝わるように表現できる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握する。	・つながりを示す語やフレーズをたよりに、論理の展開を読み取る。	・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、単元理解を問う出題により、助動詞が理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・多くの助動詞＋have +過去分詞が適切に使えているか確認する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	多くの分詞が適切に使用できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 10 （6 時間）	「七夕について紹介する」という題材で動名詞の使い方を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に動名詞を使用して話す。	・ワークシートを利用し、動名詞を使用して英語で説明する。	・積極的に動名詞を使用して話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・動名詞を理解して使用すること。	・本文を理解して、自分の考えを話す。	動名詞を理解し利用できていること。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		・動名詞を理解し使用すること。	・動名詞の形を理解し、その内容を理解する。	動名詞を理解し使用することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動名詞の使い方を理解	・本文中で用いられている	・動名詞の使い方を	・言語の使用場面と働

		する。	意味や用法を確認する。	理解している。	きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 11 （6時間）	「お月見を紹介する」という題材で、不定詞の使い方を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に不定詞を使用する。不定詞の３つの用法も理解する。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・多くの不定詞を使用して表現できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、情報や考えなどを、聞き手に伝わるように表現する。	・適切な不定詞を使用して、自身の考えなどを、表現できる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、情報や考えなどを、聞き手に伝わるように表現できる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握する。	・つながりを示す語やフレーズをたよりに、論理の展開を読み取る。	・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、単元理解を問う出題により不定詞が理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・不定詞が適切に使えているか確認する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	不定詞が適切に使用できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 12 （6時間）	「日本のアニメと漫画」を題材に、分詞の使い方を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に分詞法を使用して話す。	・ワークシートを利用し、分詞を使用して英語で説明する。	・間違うことを恐れず、積極的に分詞を使用して話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・分詞を理解して使用すること。	・本文を理解、説明し、自分の考えを話す。	・分詞を理解し使用できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		・分詞を理解して使用すること。	・分詞と名詞の語順を理解し、その内容を理解する。	分詞を理解して使用することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・分詞の使い方を理解する。なぜこの様な用法があるか理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・分詞の使い方を理解している。用法を理解できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 13	「喫煙によ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

（６時間）	る健康被害の新聞記事」を題材に、関係代名詞の使い方を理解する。	・間違うことを恐れず、積極的に関係代名詞を使用して話す。	・ワークシートを利用し、関係代名詞を使用して英語で説明する。	・間違うことを恐れず、積極的に関係代名詞を使用して話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係代名詞を理解して使用すること。	・本文を理解、説明し、自分の考えを話す。	・関係代名詞を理解し使用できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		・関係代名詞を理解して使用すること。	・関係代名詞の形を理解し、その内容を理解する。	関係代名詞を理解して使用することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞の使い方を理解する。なぜこの様な用法があるか理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の使い方を理解している。用法を理解できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 14 （６時間）	「映画の感想を述べる」という題材で、関係代名詞の使い方を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に関係代名詞を使用して話す。	・ワークシートを利用し、関係代名詞を使用して英語で説明する。	・間違うことを恐れず、積極的に関係代名詞を使用して話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係代名詞を理解して使用すること。	・本文を理解、説明し、自分の考えを話す。	・関係代名詞を理解し使用できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		・関係代名詞を理解して使用すること。	・関係代名詞の形を理解し、その内容を理解する。	関係代名詞を理解して使用することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞の使い方を理解する。なぜこの様な用法があるか理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の使い方を理解している。用法を理解できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 15	「言語に関	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

（６時間）	する社会問題のスピーチを聞く」という題材で、関係副詞の使い方を理解する。	・間違うことを恐れず、積極的に関係副詞を使用して話す。	・ワークシートを利用し、関係副詞を使用して英語で説明する。	・間違うことを恐れず、積極的に関係副詞を使用して話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係副詞を理解して使用すること。	・本文を理解、説明し、自分の考えを話す。	・関係副詞を理解し使用できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		・関係副詞を理解して使用すること。	・関係副詞の形を理解し、その内容を理解する。	関係副詞を理解して使用することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法の使い方を理解する。なぜこの様な用法があるか理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法の使い方を理解している。用法を理解できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 16 （６時間）	「異文化の食事のマナーについての違い」を題材に、従属接続語の使い方を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に、従属接続語を使用して話す。	・ワークシートを利用し、従属接続語を使用して英語で説明する。	・間違うことを恐れず、積極的に従属接続語を使用して話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・従属接続語を理解して使用すること。	・本文を理解、説明し、自分の考えを話す。	・従属接続語を理解し使用できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		・方を理解して使用すること。	・の形を理解し、その内容を理解する。	従属接続語を理解して使用することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法の使い方を理解する。なぜこの様な用法があるか理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・従属接続語の使い方を理解している。用法を理解できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 17 （６時間）	「インドネシアと日本の違い」を題材に、比較の使い方を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に比較を使用する。その他の比較の用法も理解する。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え	・多くの比較級を使用して表現できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。

			合う。		
		「外国語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、情報や考えなどを、聞き手に伝わるように表現する。。	・適切な比較級を使用して、自身の考えなどを、表現できる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、情報や考えなどを、聞き手に伝わるように表現できる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握する。	・つながりを示す語やフレーズをたよりに、論理の展開を読み取る。	・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、単元理解を問う出題により、比較級が理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・多くの比較級が適切に使えているか確認する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	多くの比較級が適切に使用できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 18 （6時間）	「もし世界が100人の村だったら」を題材に、仮定法過去の使い方を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に仮定法を使用して話す。	・ワークシートを利用し、仮定法を使用して英語で説明する。	・間違うことを恐れず、積極的に仮定法を使用して話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・仮定法を理解して使用すること。	・本文を理解、説明し、自分の考えを話す。	・仮定法を理解し使用できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		・仮定法を理解して使用すること。	・仮定法の形を理解し、その内容を理解する。	仮定法を理解して使用することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法の使い方を理解する。なぜこの様な用法があるか理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法の使い方を理解している。用法を理解できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 19	「環境問題	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

（６時間）	についての発表」を題材に、仮定法の使い方を理解する。	・間違うことを恐れず、積極的に仮定法を使用して話す。	・ワークシートを利用し、仮定法を使用して英語で説明する。	・間違うことを恐れず、積極的に仮定法を使用して話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・仮定法を理解して使用すること。	・本文を理解、説明し、自分の考えを話す。	・仮定法を理解し使用できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		・仮定法を理解して使用すること。	・仮定法の形を理解し、その内容を理解する。	仮定法を理解して使用することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法の使い方を理解する。なぜこの様な用法があるか理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法の使い方を理解している。用法を理解できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。